気づき・考え・行動する
環境にやさしい子どもへ

ユネスコスクール
高崎市立六郷小学校

１．取り組みの概要

六郷小学校は平成２２年度にユネスコスクールに加盟し、ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）に取り組んでいます。今だけでなく未来の地球のことも考え、各学年や委員会の環境活動を通して人や自然、社会との「つながり」「かかわり」を尊重できる児童の育成を目指しています。さらに、ＳＤＧｓ（地球上のすべての人々がいつまでも健康で幸せに暮らせるようにしていくための１７の国際目標）について学び、ゴール達成に向け、ＥＳＤ（ＳＤＧｓを推進するための取組）を推進しています。

２．令和７年度の活動内容

【環境学習】

本校では、各学年の総合的な学習の時間や社会、理科、生活科などに環境学習が位置づけられており、ＥＳＤカレンダーに基づいて様々な教科と関連させながら教科横断的に取り組んでいます。

低学年では自然や環境に親しみをもてるように、中学年では身近な自然や環境に関心をもって課題を見付けられるように、高学年では広く視野をもって自然や環境に目を向け課題解決できるようにと段階を踏んだ学習をしています。

１年生は「氷づくり」や「葉の擦り出し」、「中庭の観察」など、中庭の観察池を有効に活用した環境活動を積極的に取り入れました。２年生は野菜を育て観察する「ぐんぐん育てわたしのやさい」３年生は学校周辺の歴史や環境について調べる「新発見！六郷の町」を学習しています。４年生の「中庭プロジェクト」では、環境問題に関心をもち課題を見つけ、解決方法を調べ、実践する学習をしています。５年生は「榛名林間学校」で高崎市の自然を感じ、６年生は理科「地球に生きる」で自然環境について考えています。また、「動く環境教室」では、４年生は「家庭から出る水の汚れ」や「ゴミ問題」、６年生は「川や池の水質」や「地球温暖化」をテーマに体験学習に取り組みました。

また、ＳＤＧｓの対応する目標を明確にして委員会活動や学校行事などに取り組んでいます。今年度は、４年生の「中庭プロジェクト」の環境に対する活動が評価され「ぐんぎん財団教育環境賞」で優秀賞を受賞しました。

活動の様子

１年生の中庭の観察

４年生の中庭プロジェクト

６年生のエコムーブ号

委員会や行事の目標

【環境委員会】

環境委員会では、花壇の整備、ＳＤＧｓウィークの運営など、校内の環境活動の中核を担っています。

エコパトロールは、休み時間に校内を見回り、電気の消し忘れや水の止め忘れがないかをチェックする活動です。校庭にある花壇も環境委員会が花を植えたり、水を撒たり、草を取ったりして、花の手入れをしています。今年度は、種子から植物を育てました。環境委員が一つ一つ丁寧にポットに種まきをして、育った花の苗を花壇に植えて育てました。

ＳＤＧｓウィークの運営では、エコパとトールを実施して、電気の消し忘れや水道の水の止め忘れをチェックして、注意喚起を行いました。

エコパトロール

花壇の世話

【環境活動】

・ＳＤＧｓウィーク

六月上旬に「ＳＤＧｓウィーク」を設けました。まず、計画委員会と環境委員会を中心にＳＤＧｓ集会を行いました。ＳＤＧｓの目標に合わせた実践を報告することで、児童がＳＤＧｓについて考えることができました。

・中庭の整備

本校の中庭には、開校１００周年を記念して作られた観察池や果実のなる木、食品トレーから作った枠で囲まれているエコ花壇があります。４年生を中心に、中庭の整備を行い、今年度は、各家庭から出た生ごみでたい肥を作り、エコ花壇や木の根元に散布しました。また、生ごみ堆肥を利用して、第７の池で稲作りを行いました。

中庭は、休み時間等に立ち入ることはできませんが、理科や総合的な学習の時間、生活科などの授業で訪れ、植物や生き物と触れ合う場所になっています。

観察池の様子

生ごみでたい肥作り

稲刈りの様子

３．令和８年度の活動について

本年度も、各学年の学習時間や委員会活動を通して、身近なエコ活動や環境への取り組みを進めることができました。令和８年度の活動の継続にとどまらず、児童一人ひとりが環境についての意識をより深め、自ら考えて行動できるよう、ＳＤＧｓの目標を明確にした教育活動に取り組んでいきます。